

# 植松恭一氏

## 1. 立候補を決めた理由を教えてください

4期16年議員をさせていただき、自分でようやく力が着いてきたと思う。これまで様々な仕事をさせていただいたが、地方行政は問題が山積みだと考える。これは全国的な問題であり、沼津市だけの問題ではないと考える。今まで沼津市に育てていただいた恩を返せるように、培ってきた力を使い、また、自民党議員の古参として国、県へのパイプを使い、沼津市が東部一の街になってもらえる為の一助となれるよう立候補を決意した。

## 2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口問題だと考えている。一言で言えば、住み易い街であれば人は自然に集まってくる。それは子育てや教育、働く場所、交通アクセス、地震・大雨等の災害、住民サービスの向上、高齢者対策など多岐にわたっている。これをバラバラな問題としてではなく大きな一つの問題として考え、多くの人の意見を募り、長期計画としてやらなければ前進しないと思っている。日々の活動以外、解決の方策なしと考える。

## 3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

高架事業は手段の一つであり、これをやれば絶対に良くなるというものではない。但し、新しい街づくりには必要不可欠であると考えている。高架事業が後世成功だったと言われるには、今後の私達の活動が重要であり、その為には一部の考えではなく多くの市民の意見を聴き、それをまとめて活かしていかなければならないと思う。非常に困難なところであるが、それが我々の責任であり、沼津再生のカギだと考えている。

## 4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

非常に厳しい。市も努力しているが、全国的なものであり簡単にはいかない。今回市内を歩き、一度は住むが出て行ってしまふ人が多い事にも驚いた。その為前段でも述べたが、行政全ての部分で長いスパンで改革していかなければならないと考えているが、ラブライブで移住民が増えたりと、既存の考えの外で成果が出ている。様々な考えを取り入れ活動していくしかない。又、住民の地域への定着を進めていかなければと考える。